

中学1年生は、3年間の基盤づくり。しっかりとした土台をつくりあげ、自身の成長につなげよう。

礎 (いしづえ)

森町立旭が丘中学校第1学年
学年通信 第2号
令和5年 4月7日(金)
文責 間瀬 彰浩

新入生誓いの言葉

やわらかく暖かな風に舞う桜の花びらとともに、ぼくたちは今日、この旭が丘中学校の門をくぐりました。咲き誇る桜の花々は、まるで僕たちの入学を歓迎しているかのようです。本日は、このような盛大な入学式を行っていただき、まことにありがとうございます。校長先生をはじめ、皆様方からの温かいお言葉は、心に響きました。

ぼくは今、緊張と不安の中にも、これから始まる中学校生活への期待で、胸がいっぱいです。新しい友だちに出会えることや、初めての部活動、これから経験する「体育祭」や「飛躍祭」などの学校生活がとても楽しみです。

学習面では、教科ごとに先生が替わり、どの教科も小学校の時よりも難しくなると聞いています。だから、1つ1つの授業を大切に、日々の家庭学習も充実させたいと思います。小学校での「せんだん委員会」の活動では、仲間と協力し合い、工夫すること、自分から進んで取り組むことの大切さを学びました。中学校生活でも、クラスの仲間と協力し、率先していろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。

最後になりましたが、校長先生、並びに、諸先生方、そして先輩方。どうぞ、御指導をよろしくお願いいたします。

ぼくたち新入生は、歴史と伝統ある旭が丘中学校の生徒として誇りをもち、その名にはじめよう、実り多い中学校生活を送ることを、ここに誓います。

以上、ぼくの新入生誓いの言葉とさせていただきます。本日は、本当にありがとうございました。

新入生代表 内山 奈々

飛躍につなげてい